

## 2019年度 三次市障害者支援センター事業実施報告

### 1 総合相談支援

- (1) 一般相談の利用人数,相談件数,支援内容は,別紙の事業実施状況1-(1),(2),(3)のとおりで,利用実人員は387人,相談件数は4,276件で昨年度と比較し,利用人数で35人,相談件数で588件減少しています。この要因は,相談内容の多様化,複雑化などにより,障害者支援センターだけでは解決が困難な課題や市内の社会資源だけでは対応できない課題が増えており,関係機関との連携や調整が今まで以上に必要となり,1件あるいは1回の相談に費やす時間が多くなっていることが要因と思われます。これは個別ケア会議の開催が155回(別紙事業実施状況2)となり,昨年度と比較し,35回増となっていることから見てとれます。障害と生活困窮の混在した世帯,当事者に病識がない,浪費の繰り返し,障害者同士での虐待の繰り返し,施設でトラブルを繰り返し生活の場が無くなった,家族の協力を得るのが難しい等,困難事例が増加しており,支援者側のより一層の連携とスキルアップが求められています。あわせて,根本的な解決にいたらない,解決の糸口が見えない困難な課題に日々対応している職員のモチベーションの維持向上やメンタルヘルスケアも,今後の大きな課題の一つと捉えています。
- 指定特定相談支援事業者としては,102人(うち児童10人)の計画相談支援(障害福祉サービスの利用計画の作成)を行いました。
- (2) 電話による24時間相談を行っています。休日夜間の利用件数は105件でした。相談内容は,精神障害のある方の不安解消,情緒安定を求めるものがほとんどです。
- (3) ピア・カウンセリングは1件の相談があり,自宅訪問にて実施しました。統合失調症の方のグループカウンセリング「ピュアの会」,言いつばなし聞きつばなしの集い「わかちあいのつどい」は,参加者の減少が見込まれるため,休止しました。
- (4) ピア・サポートグループやまなみは毎月定例会を開催し,毎回5名程度の参加があります。「やまなみカフェ」は,新たに甲奴健康づくりセンターゆげんきで開催し,周辺部での啓発活動を行いました。やまなみ公開講座では,当事者や支援者だけでなく市議会議員の参加もあり,ワールドカフェ形式で意見交流や創作活動を通してピア・サポートの学びを深めました。カフェ開催協力店の発掘,メンバー同士の交流会開催等,自発的に意見し活動を広げています。
- (5) 隔年で開催しているピア・サポーター養成講座の今年度の修了者は,2名でした。ピア・サポートグループやまなみへ登録し,現役のピア・サポーターと一緒に活動

を開始しています。まだまだピア活動の周知は不足しており、カウンセリングに限らず様々な形でピア・サポートが出来る場をつくっていく必要があります。

- (6) 「聴こえに困っている方の相談会」を毎月第2土曜日に開催し、相談件数は5件でした。相談内容は障害者手帳の取得や難聴の重度化による障害者手帳の更新、障害者年金、人工内耳等についてでした。
- (7) 「知的障害者（児）相談会」は、毎月第3日曜日に開催し、電話での相談も含め相談件数は90件でした。相談内容は、学校、職場、家庭内でのトラブル、子どものかかわり、仕事に対する不安、生活や将来への不安、病気や健康への不安、結婚、施設入所等についてでした。また、支援者からの相談が4件ありました。
- (8) 手話通訳者設置事業は、引き続き市役所社会福祉課窓口職員を派遣し、毎日実施しています。通訳内容は、障害福祉サービスの手続き、会議通訳等で、8人の方へ、40回の通訳を行いました。

## 2 専門機関との連携

- (1) 障害者支援センター連絡会議を社会福祉課、健康推進課、女性活躍支援課、教育委員会学校教育課、こども発達支援センターの参加により、毎月第2・4月曜日に定期的に開催し、障害者施策の連携や個別の支援ケースの情報共有を図りました。
- (2) 三次市障害者支援協議会ネットワーク連絡会議の事務局として、「相談支援」「就労支援」「地域生活支援」「療育・発達支援」「差別解消支援」の5部会の運営と活動の推進を図りました。

### 相談支援部会

毎月部会を開催する中で、制度の勉強会や事例検討会等を行い相談支援専門員のスキルアップに努めました。また、地域において、複合的な支援をコーディネートできる知識や連携を深めるため、障害、高齢、児童、医療等様々な専門分野の支援者と合同での勉強会を3回開催しました。

### 地域生活支援部会

障害児の夏休みのプール支援について、ヘルパー事業所間で連携し例年通り希望者へのサービス提供ができました。障害者の外出に対するニーズ調査を目的に、市が給付している福祉タクシー等助成券の用途調査を行った結果、ガソリン券としての利用者が6割強で、使用目的は、通院・買い物が大半を占め、社会参加は少数で

した。しかし、この調査だけでは、ニーズを把握することはできないと思われるため、他の方法も合わせた調査が必要です。また、今年度は2名の重度のALS（筋萎縮性側索硬化症）の方が、在宅生活を始められましたが、市内ヘルパー事業所では対応できないため、市外（広島市）の事業所からヘルパーを派遣しています。今後、在宅生活を望まれる重度障害者は増えてくると考えられます。ボランティアの活用も視野に入れ、市としての体制整備が必要です。

### 就労支援部会

毎週水曜日に市役所で「水t oショップ(スイートショップ)を継続しています。また、三次商工会議所、広域商工会等関係機関との連携を模索する中で、みよし商工フェスティバルに参加しました。販売する物品がある事業所が主となつての参加でしたが、売り上げは良好でした。しかし、市民への障害者就労施設の認知度が低く周知不足が課題です。参加したことで、新たに商工会議所会員との交流が図れ、新規事業につなげることもできました。今後も、作業所の工賃アップにつながる取り組みとして関係機関との連携を強化し、商品の販路拡大、新商品開発などが必要です。あわせて、就労支援事業を利用している障害者の就労の定着に向けた支援を、事業所と連携しながら進めていくことが重要です。就労支援事業所間の連携強化を目的に、市内事業所（3か所）の見学会を実施しました。参加者は延べ37人、実人数14人でした。それぞれの事業所を見学することにより、事業所の特色や作業内容を詳しく知ることができ、情報共有や新規事業の開拓のヒントを得るなど、大変有意義な場となりました。

### 療育・発達支援部会

発達障害の理解や啓発をテーマに「市民講演会」を11月に実施し、家族や支援者等70人の参加がありました。また、乳幼児期から成人期までの一貫した支援につなげるためのサポートファイル学習会を10月に開催し、保護者や支援者など38人の参加がありました。また、事例検討研修や相談支援部会との合同研修を実施することにより、お互いの情報共有やネットワークづくりにつながってきてはいますが、今後、教育機関とのより一層の連携の強化が必要です。

### 差別解消支援部会

全市民へ障害者差別解消法に基づく合理的配慮を周知する取り組みとして、部会の構成団体へ三次市内で合理的配慮がなされていると感じた事例、必要だと感じた

事例について調査を行い、集まった事例をイラスト化して広報三次に3回シリーズで掲載しました。また、合理的配慮が市内の事業所（店舗）等にどのように浸透しているか三次商工会議所、三次広域商工会の協力を得て、1,802件のアンケート調査を実施し、529件の回答（回答率29.3%）がありました。この結果の分析に基づき、合理的配慮が広まるにはどのような資源が必要か、部会内で協議し、障害者（児）が安心して暮らせるまちづくりに活かしていく必要があります。

- (3) 毎月第3木曜日に開催される「三次病院連絡会議」に参加し、個別ケースの情報交換、支援方針を確認しながら医療と福祉の連携を図ってきました。
- (4) 備北障害者就業・生活支援センターが行う「障害者就業・生活支援連絡会」に参加し、ハローワーク、三次病院、特別支援学校等関係機関と連携しています。
- (5) 障害者虐待通報は新規に8件ありましたが、被害の程度、緊急性、本人の意向等判断し、虐待ケースとしては6件対応しました。家庭内全体が複雑な課題を抱えた世帯での虐待が目立ち、根本的な解決には至らないケースがほとんどで、今後も、行政、警察、民生委員、その他関係機関等との連携した対応が、より一層求められています。

### 3 社会資源を活用するための支援

- (1) 精神障害者ボランティア養成講座を8月に三次市社会福祉協議会、三次病院の協力を得て、はじめて高校生を対象に実施しました。受講者は3名で、全員修了者となりました。また、ボランティア養成講座の修了者26人に、毎月「三次市障害者支援センターのソーシャル・サロン」等の行事を案内し、ボランティアとして延べ22人の参加がありました。
- (2) 園芸福祉ネットワークの活動は、市内4つのブロックで自主的に行っています。全体の活動としては、鶺鴒乗船場の花壇の手入れ、福祉保健センターの花壇の定期的な手入れや健康福祉まつりでのPR活動などを行い、毎回10人程度の参加がありました。
- (3) 福祉的就労に関わる施設見学は、11件（実人数10人）で、10人が福祉的就労につながりました。しかし、生活リズムが不規則で朝が起きれない、体調が安定しない等様々な理由により、就労が継続しないケースが多く、定着に向けた丁寧な支援がこれからも必要です。例年に比べ見学及び就労につながったケースの数が減っている理由としては、三次市内の相談事業所が増えたことや、就労よりもまずは生活を整えなければならないケースが増えていることが考えられます。

- (4) 障害年金の相談は6件、申請したものが2件で、この2件が受給決定になりました。本人の生育歴があいまいだったり、初診の特定に手間取ったり、家族の協力が得られなかったりと申請に時間がかかるなど、従来からあった課題に加え、年金申請に必要な診断書作成のためだけの受診が可能な医療機関が無いという課題があります。

#### 4 社会生活力を高める支援

- (1) ソーシャルクラブは、障害の有無にかかわらず全ての障害を対象とし、グループ活動を通して社会参加のきっかけを作るとともに、個々の力の向上を図ることを目的に、福祉保健センター2階活動交流室等で、毎週金曜日に開催しました。障害の違いによる事業の組立ての難しさ、参加者の人間関係の困難さがありますが、日中の居場所、社会参加の場となっています。参加者は延べ290人 実人員30人でした。
- (2) ハートフルサロンは、精神障害者をはじめ、ひきこもりや障害者手帳や受診につながっていない人を対象に、創作活動を中心に毎週火曜日、福祉保健センター2階活動交流室等で実施しました。前記のソーシャル活動と同様参加者が固定化しており、今後、様々な機会を利用し、新たな利用者の掘り起しが必要です。参加者は延べ183人、実人数21人でした。
- (3) スポーツ文化事業は、障害者フライングディスク競技大会を8月18日(日)に市と共催し、競技者80人、ボランティア・スタッフ約70人の参加がありました。また、11月10日(日)、みよし運動公園において「スペシャルオリンピックス日本・広島陸上競技会」が開催され、アスリート80人の参加がありました。障害者支援センターも市、一般ボランティア等とともにスタッフとして参加しました。
- (4) 統合失調症の方の家族学習会は、当事者だけでなく当事者家族も元気に日々暮らしていけるような勉強会(WRAP)や大切な人を守るための勉強会(親なきあと)、家族同士の交流の場としてフリートークや創作活動、リフレッシュ企画としてランチ会などを毎月第2木曜日に実施しました。家族同士だからこそ分かり合える場所、安心して話ができる場所として提供できていると感じています。しかし、家族会へ繋がらず、身内だけで抱えているケースも多く存在するのではないかと予想され、保健師と連携を図りながら家族会への参加を進めていくとともに、統合失調症の疾患に限らず、「精神障害の方の家族学習会」として枠を拡げていき、誰もが安心して過ごせる時間を作っていく必要があります。参加者は延べ52人 実人員12人でした。

## 5 障害者の関係団体の支援，情報提供・啓発等

- (1) 市内の障害福祉サービスや関係事業所を紹介した「2019みよし障害者福祉サービスガイドブック」を900部発行し，関係機関や利用者に配付しました。
- (2) 12月の「障害者週間」に合わせ12月2日～9日まで，福祉保健センター1階ロビーにおいて「障害者福祉事業所の紹介と製品パネル展」をしました。5事業所から利用者の作品や製造品等の提供があり，障害者の活動の広報の場となりました。
- (3) 12月8日（日）みよし健康福祉まつりでは，法人各部署と合同で事業紹介の展示を行い，障害の理解や啓発活動を行いました。
- (4) 障害者団体や家族会を紹介する冊子「障害のある方とその団体」を作成し，窓口において障害者手帳交付時に配付しています。当事者団体や家族会の活動を広く周知し障害の理解につなげています。
- (5) 10月16日に市内の小学校に出向き，障害者理解に向けた福祉授業をおこないました。121名の児童に障害体験や簡単な手話を使ってのコミュニケーション指導等を行い，障害に対する理解を図りました。
- (6) 「障害を知り，ともに生きる」と題し，合理的配慮についてわかりやすくイラスト付きで解説した記事を，広報三次に3回シリーズで連載し，広く市民に周知しました。
- (7) 広報活動では，「広報みよし」に毎月の行事や活動の案内を掲載しました。また，障害者に係る情報発信として，年4回「障害者支援センターだより」の発行や，サービスガイドブックの発行，個別に郵送等でサービス案内，行事案内等を行い，周知を図りました。今後はSNSを活用した情報発信に積極的に取り組む必要があります。
- (8) 発達障害専門家会議 in びほく（発達障害の課題に取り組む各分野の専門家による会議 in びほく）に事務局の構成員として参画し，近隣3市の市民を対象としたシンポジウムや会員の交流会，定期的な事務局会議を開催し，発達障害の啓発や関係機関同士の連携の仕組みづくりを進めました。

# 2019年度 三次市障害者支援センター事業実施状況

2020年3月31日現在

## 1 相談支援事業の実施状況

### (1)相談支援を利用した実人数

種別	人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	369	65	-	92	177	6	7	22
昨年度	396	90	1	83	180	13	9	20
障害児	18	1	-	9	-	6	-	2
昨年度	26	1	-	12	-	6	-	7
計	387	66	-	101	177	12	7	24
昨年度	422	91	1	95	180	19	9	27

### (2)相談受理(対応)状況(件数)

種別	訪問	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他	合計
件数	783	300	125	1,318	155	1,592	3	4,276
昨年度	852	388	144	1,611	130	1,720	19	4,864
うち休日夜間	5	-	-	81	1	18	-	105
昨年度	7	6	2	199	-	9	-	223

### (3)支援内容(件数)

種別	福祉サービスの利用等に関すること	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	1,662	413	441	756	18	466	188	205	366
割合	35.0%	9.0%	9.0%	16.0%	0.0%	10.0%	4.0%	4.0%	8.0%
昨年度	1,661	344	428	824	31	418	159	241	473
	34.0%	7.0%	9.0%	17.0%	1.0%	9.0%	3.0%	5.0%	10.0%

種別	社会参加・余暇活動に関すること	権利擁護に関する支援	その他	合計
件数	96	121	7	4,739
割合	2.0%	3.0%	0.0%	
昨年度	104	132	49	4,864
	2.0%	3.0%	1.0%	

### (4)聞こえに困っている方の相談会の実施状況

相談員	回数	相談内容	相談件数
伊達 元一郎	12	補聴器の相談、聞こえなくなったことによる不安や医療の相談、家族の結婚相談等	5 件

(5)知的障害者(児)相談会の実施状況

相談員	回数	相談内容	相談件数
新元 史子	11	家族との関係、学校の問題、生活や体調の不安、仕事の悩みや人間関係、手帳の相談、子どもの将来への不安、学校や保育所への不満など	90件

(相談会以外の電話による相談も含む)

2 個別ケア会議開催・出席状況 155回 (昨年実績 123回)

3 サービス利用計画作成状況

(1)契約人数

項目	身体障害	知的障害	精神障害	その他	児童	計	
契約人数	24人	30人	37人	1人	10人	102人	
昨年度	17人	34人	40人	1人	-	92人	内児童 10人

(2)計画作成・モニタリング実施状況(年間件数)

障 害 者						障害児	合計
項目	身体障害	知的障害	精神障害	その他	計		
計画作成	26件	35件	50件	3件	114件	10件	124件
昨年度	25件	33件	43件	1件	102件	13件	115件
モニタリ	68件	92件	114件	2件	276件	20件	296件
昨年度	67件	83件	115件	3件	268件	35件	303件

4 障害者支援協議会(関係)会議開催(出席)状況

開催日	会議名	主 な 内 容
7月4日 (木)	第1回三次市障害者支援協議会 (全体会議)	1. 報告事項 (1)各種相談等件数について (2)障害者優先調達法の取組み状況 2. 協議事項 (1)障害者及び障害福祉サービスの現状 (2)障害者支援センター事業について (3)障害者支援ネットワーク各部会の活動について 出席者:委員18人(18人中)
2月27日 (木)	第2回三次市障害者支援協議会 (全体会議)	1. 報告事項 (1)医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場について (2)三次市障害者支援センター事業の実施状況について (3)三次市障害者支援ネットワーク連絡会議各部会活動について 2. 協議事項 (1)地域生活支援拠点等の整備について (2)支援困難ケースの検討 出席者:委員18人(18人中)

部会関係事業

部会名等	開催日	主 な 内 容
相談支援部 会	4月16日	今年度の計画について、情報共有
	5月23日	年間活動計画立案、「報酬改定・加算」の勉強会
	6月25日	事例検討、今後の予定の確認、情報共有
	7月23日	勉強会「対人援助者のバーンアウトについて」、今後の研修会、勉強会等の内容協議
	8月20日	療育発達支援部会との合同研修打ち合わせ
	9月17日	10月三次病院勉強会、12月研修会の内容について

	10月30日	三次病院勉強会参加(アルコール依存)
部会名等	開催日	主 な 内 容
相談支援部会	10月30日	12月実施の研修会について・今後の活動の確認
	11月20日	事例検討、今後の活動予定について、
	12月9日	①研修会「地域共生社会を目指して、福祉や医療の専門職はどんな役割を担うのか」講師:相扶の郷管理者 荒木和美氏 参加者65人 ②情報交換会 参加者22人
	1月21日	医療的ケア児の就学支援体制についての勉強会、中間報告まとめについて
	2月18日	事例検討、地域生活支援拠点整備システムについて報告等
地域生活支援部会	4月25日	タクシー券の使途検証について、プール支援について
	5月28日	障害児の夏休みプール支援について
	9月3日	夏休みプール支援の振り返りについて
	1月15日	重度訪問介護について
就労支援部会	6月18日	平成30年度の振り返りと令和元年度の活動計画・商工フェスタ参加について
	8月29日	新規開設事業所「晴ればれ」の見学会・商工フェスタ参加について
	10月29日	市内就労施設見学(未来ファーム)
	11月15日	商工フェスティバル参加後の振り返り、障害者週間について、作業所見学会について
	10月26～27日	商工フェスティバル参加(ゆうしゃいん・あらくさ・障害者支援センター)
	12月13日	市内施設見学(三次共同作業所)
	2月6日	今年度の振り返り、次年度の方向性について
療育発達支援部会	5月13日	年間活動計画協議(講演会・スキルアップ研修・事例検討会)
	7月16日	事例検討、合同研修会、発達障害啓発講演会、サポートファイル学習会等について
	9月9日	事例検討、発達支援講演会、健康福祉まつり、サポートファイル学習会について
	11月5日	事例検討、発達支援講演会について、健康福祉まつりについて
	12月8日	健康福祉まつりにて、発達障害啓発コーナーを出店
	1月14日	事例検討、発達支援講演会・健康福祉まつりの振り返り、今年度の振り返り
	2月10日	今年度の振り返り、次年度の方向性について
差別解消支援部会	5月28日	広報「三次」での啓発について、部会内での合理的配慮の情報交換会
	7月29日	今年度の活動について(広報三次での啓発、手話・コミュニケーション条例の取組等)
	8月28日	各所属へのアンケート調査について・広報三次の記事について
	11月27日	各所属へのアンケートの結果について・市内事業所へのアンケート調査について
	1月27日	広報三次掲載内容の確認と協議・事業所への合理的配慮アンケート・中間報告のまとめ
相談支援部会・療育発達支援部会合同研修会	9月6日	「支援者のスキルアップと心のゆとりを作り」～教えて〇〇さん！を2名作って帰ろう～(グループワークによる事例検討)
権利擁護ネットワークワーキング会議	6月27日	平成30年度活動報告・令和元年度活動計画・市民後見人養成事業など
障害者就業・生活支援連絡会	6月24日	備北障害者就業・生活支援センターの現状と課題・関係機関の情報共有

## 5 障害支援区分認定訪問調査の実施状況

身体障害	知的障害	精神障害	重複障害	自立支援医療	難病	合計	昨年度
33人	53人	34人	22人	4人	2人	148人	171人

## 6 サロン・地域交流事業の実施状況

(1)スポーツ・レクリエーション等活動支援状況(※ソーシャルクラブを除く)

開催日	行 事 名	場 所	参加者等	内 容
7月22日			1人	
7月29日	障害者フライングディスク大会 練習	みよし運動公園 屋内テニスドーム	3人	練習補助

8月8日

東京大学

7人

開催日	行事名	場所	参加者等	内容
8月18日	障害者フライングディスク大会	みよし運動公園屋内テニスドーム	150人	大会運営
11月10日	スペシャルオリンピックス日本・広島陸上競技会	三次運動公園陸上競技場	2人	応援勤務

## (2) ソーシャル・クラブの実施状況

回数	実施期間	会場	参加者数	主な支援内容
42回	毎月第1～4金曜日	三次市福祉保健センター2F活動交流室ほか	延べ290人 実人数30人	計画立案, スポーツ・レクリエーション, 調理実習等

## (3) 精神障害者社会復帰集団指導(ハートフルサロン)の実施状況

回数	実施期間	会場	参加者数	主な支援内容
43回	毎月第1～第4火曜日	三次市福祉保健センター2F活動交流室ほか	延べ183人 実人数21人	計画立案, 美術鑑賞, ヨガ, スポーツ, 花見, 体験WRAP, やまなみカフェ参加等

## (4) 各種講座の開催状況

回数	実施期間	会場	参加者数	主な支援内容
-	-	-	-	-

## (5) ボランティアの活用と育成に関する支援状況

支援対象グループ等	実施日	会場	参加者数	主な支援内容
精神障害者ボランティア養成講座	7月27日	活動交流室	3人	ボランティアをはじめよう, こころの病気の理解
	8月3日		3人	精神障害者へのかかわり方, 障害福祉サービス
	8月10日		3人	元気にボランティアを続けるために, ボランティアWRAP
	8月24日		4人	講座の振り返り
精神障害者ボランティア(17回)	毎月4行事程度	三次市福祉保健センターほか	22人	サロンやソーシャル活動のサポート
「みよし園芸福祉ネットワーク」花壇, 施設等整備作業	4～11月 毎月1回	三次市福祉保健センター	53人	事務局・運営支援等
園芸福祉ネットワーク研修	11月23日	因島	19人	会員の親睦と研修

## (6) 障害者(児)の家族・当事者団体・グループとの交流状況

支援対象グループ等	実施日	会場	参加者数	内容
統合失調症の家族学習会	4月11日	活動交流室	4人	フリートークとお菓子づくり
	5月9日		5人	ハーバリウムを作ろう
	6月13日		3人	家族WRAP
	7月11日	二本松牧場	4人	ランチ会
	8月8日	活動交流室	4人	下半期の計画+フリートーク
	9月12日		3人	フリートーク+ヨガ
	10月10日		4人	フリートーク
	11月12日		8人	親なき後について
	12月12日		4人	お正月の寄せ植えを作ろう
	1月9日		9人	新年会
	2月13日		4人	次年度の計画立案

三次市身体障害者連 合会総会	4月20日	ふれあいホール	-	来賓としてセンター長出席
-------------------	-------	---------	---	--------------

## 7 ピア・カウンセリング活動の実施状況

事業名	実施日	会場	参加者数	内容	
ピア・サポート グループ やまなみ	総会	4月20日	市内飲食店(死 <small>ピア</small> )	4人	新年度役員・活動計画の決定
	公開講座	6月14日	ふれあいホール	14人	やまなみの啓発、ワールドカフェ開催
		11月6日		16人	受付、活動紹介、ワールドカフェ開催
	カフェ	7月30日	甲奴健康づくりセン ターゆげんき	14人	カフェ開催時の運営支援
		12月8日	きりり	110人	健康福祉まつりカフェ開催の運 営支援
	交流会	10月19日	生涯学習センター調理室	7人	パン作り
	定例会	5月18日	活動交流室	4人	やまなみ公開講座、やまなみカ フェ開催の事前調整
		6月14日	ふれあいホール	4人	公開講座の反省、カフェと通信に ついて協議
		7月20日	活動交流室	4人	カフェ事前打合せ、カフェ開催場 所新規開拓・交流会について協議
		8月17日		3人	カフェ、登録者交流会、公開講座 について協議
		9月21日	生涯学習センター調理室	5人	交流会準備
		11月16日	活動交流室	3人	過去の行事反省、今後の行事準備
		12月7日		3人	健康福祉まつりブース準備支援
		1月18日		6人	福祉まつりの反省、やまなみ通信 の記事について
	2月15日	7人	今年度の振り返りとわかちあいの 集い		
	「きこえ」に困っている人 の相談会	毎月第2土曜日	福祉保健セン ター相談室	5人	難聴者・中途失聴者及びその家族
	知的障害者の相談会	毎月第3日曜日		90人	知的障害者・精神障害者及びその 家族
	身体障害者何でも相談会	毎月第3土曜日		-	身体障害者及びその家族

## 8 情報発信・地域啓発活動、コミュニケーション支援の実施及び参加状況

実施日	事業名・概要	対象者	内容等
8月11日	発達障害シンポジウムinび ほく	当事者・保護者・ 支援者	基調講演 社福法人ひとは 理事長 寺尾文尚 シンポジウム 家族・療育・就労・医療 参加者 129人
10月6日	サポートファイル学習会	保護者・支援者	講師 広島県手をつなぐ育成会 参加者 38人 障害の擬似体験、サポートファイルの具 体的活用方法
11月1日	2019みよし障害者福祉 サービスガイドブック発行	利用者, 市民, 障害 者関係施設・機関	福祉サービス一覧, 事業所紹介&位置図 を最新の情報に更新し冊400部作製 A4判, 67ページ
11月8日	権利擁護ネットワーク講演 会 「障害をもたれた方の将来 を見据えて、今からやれる こと」	市民・関係事業所・ ネットワーク組織団 体	講師 備北ひばり法律事務所 弁護士 前田剛志

実施日	事業名・概要	対象者	内容等
11月17日	発達支援講演会 「発達段階からみた子どもの理解とかわり方」	保護者・支援者・ 市民	講師 NPO法人まなびや 相談支援専門員 虻田洋子 参加者 66人
12月8日	第15回みよし健康福祉まつり	市民	園芸福祉ネットワーク ピアサポートグループやまなみ 療育発達支援部会
12月2日～ 12月9日	障害者週間 「障害関係事業所の製品・ 作品パネル展」	市民	福祉保健センター1階ロビーにて障害関係事業所の活動・製作品、パンフ、パネル等紹介、利用者の作品展示・即売を実施
12月4日	発達支援専門家会議inび ほく交流会	発達支援専門家会 議inびほく会員	備北地域の課題提起とグループワーク 参加者25名

## 9 手話通訳者設置事業の実施状況（※社会福祉課への派遣職員）

実人数	延べ件数	主な内容
8人	40件	窓口業務, 訪問, 各種会議・打合せ会議, 健康診断